

在留証明願

平成 年 月 日

在マレーシア日本国大使 殿

申請者氏名 証明書を使う人		生年 月 日	〔明・大〕 〔昭・平〕	年 月 日
来訪者氏名 (※1)		申請者との関係 (※1)		
申請者の 本籍地 (※2)		〔都・道〕 〔府・県〕	(市区郡以下を記入してください。※2)	
提出理由		提出先		

私(申請者)が現在、下記の住所に在住していることを証明してください。

現 住 所	日本語
	外国語
上記の場所に住所(又は居所)を 定めた年月日(※2)	
(平成・昭和) 年 月	

(※1) 申請者と同じときは記入不要です。

(※2) 申請理由が恩給、年金受給手続きのとき、及び提出先が同欄の記載を必要としないときは記入を省略することができます。

在留証明

証 第 号

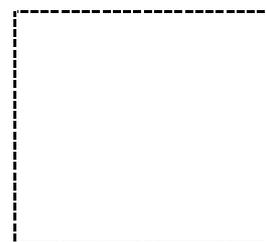
上記申請者の在留の事実を証明します。

平成 年 月 日

在マレーシア日本国大使館

特命全権大使

(手数料: RM)



在留証明願

平成 年 月 日

在マレーシア日本国大使 殿

申請者氏名 証明書を使う人		生年 月 日	〔明・大〕 〔昭・平〕	年 月 日
来訪者氏名 (※1)		申請者との関係 (※1)		
申請者の 本籍地 (※2)		〔都・道〕 〔府・県〕	(市区郡以下を記入してください。※2)	
提出理由		提出先		

私(申請者)が現在、下記の住所に在住していること、及び別紙の事実を証明してください。

現 住 所	日 本 語
	外 国 語
上記の場所に住所(又は居所)を 定めた年月日(※2)	
(平成・昭和) 年 月	

(※1) 申請者と同じときは記入不要です。

(※2) 申請理由が恩給、年金受給手続きのとき、及び提出先が同欄の記載を必要としないときは記入を省略することができます。

在留証明

証 第 号

上記申請者の在留の事実及び別紙の事実を証明します。

平成 年 月 日

在マレーシア日本国大使館

特命全権大使



(手数料: RM)

過去の住所

1	年 月 から 年 月 まで
2	年 月 から 年 月 まで
3	年 月 から 年 月 まで
4	年 月 から 年 月 まで
5	年 月 から 年 月 まで

同居家族

1	氏名		生年月日	(明・大 昭・平)	年 月 日
	本籍地	(都・道 府・県)	/		
2	氏名		生年月日	(明・大 昭・平)	年 月 日
	本籍地	(都・道 府・県)	/		
3	氏名		生年月日	(明・大 昭・平)	年 月 日
	本籍地	(都・道 府・県)	/		
4	氏名		生年月日	(明・大 昭・平)	年 月 日
	本籍地	(都・道 府・県)	/		
5	氏名		生年月日	(明・大 昭・平)	年 月 日
	本籍地	(都・道 府・県)	/		

記入例（形式1）-①：本人出頭の際の申請

形式 1

在留証明願

平成 18 年 4 月 1 日

在マレーシア日本国大使 殿

申請者氏名 証明書を 使う人	証明 花子	生年 月日	〔明・大〕 〔昭・平〕	35 年 3 月 22 日
来訪者氏名 (※1)		申請者との関係 (※1)		
申請者の 本籍地 (※2)	東京	〔都・道〕 〔府・県〕	千代田区霞が関2丁目2番地1	(市区郡以下を記入してください。※2)
提出理由	不動産登記手続	提出先	東京法務局	

私(申請者)が現在、下記の住所に在住していることを証明してください。

現 住 所	日本語： マレーシア国サバ州コタキナバル市〇〇〇通り100	
	外国語： 100 Jalan 〇〇〇, Likas, Kota Kinabalu, Sabah, Malaysia	
上記の場所に住所(又は居所)を 定めた年月日(※2)		(平成) 昭和) 17 年 4 月

(※1) 申請者と同じときは記入不要です。

(※2) 申請理由が恩給、年金受給手続きのとき、及び提出先が同欄の記載を必要としないときは記入を省略することができます。

在留証明

証第 AL-06-12345 号

上記申請者の在留の事実を証明します。

平成 18 年 4 月 1 日

在マレーシア日本国大使館
特命全権大使

公
印

(手数料： RM)

在留証明願

平成 18 年 4 月 1 日

在マレーシア日本国大使 殿

申請者氏名 証明書を使う人	証明 花子	生年 月日	〔明・大〕 〔昭・平〕	35 年 3 月 22 日
来訪者氏名 (※1)	証明 次郎	申請者との関係 (※1)	父	
申請者の 本籍地 (※2)	東京	〔都・道〕 〔府・県〕	千代田区霞が関2丁目2番地1 (市区郡以下を記入してください。※2)	
提出理由	不動産登記手続	提出先	東京法務局	

私(申請者)が現在、下記の住所に在住していることを証明してください。

現 住 所	日本語:	マレーシア国サバ州コタキナバル市〇〇〇通り100
	外国語:	100 Jalan 〇〇〇, Likas, Kota Kinabalu, Sabah, Malaysia
上記の場所に住所(又は居所)を 定めた年月日(※2)		(平成・昭和) 17 年 4 月

(※1) 申請者と同じときは記入不要です。

(※2) 申請理由が恩給、年金受給手続きのとき、及び提出先が同欄の記載を必要としないときは記入を省略することができます。

在留証明

証第 AL-06-12345 号

上記申請者の在留の事実を証明します。

平成 18 年 4 月 1 日

在マレーシア日本国大使館
特命全権大使公
印

(手数料: RM)

記入例（形式1）-③：国民年金(または厚生年金、恩給他)請求のための申請

形式 1

在留証明願

平成 18 年 4 月 1 日

在マレーシア日本国大使 殿

申請者氏名 証明書を使う人	証明 花子	生年 月日	(明・大) (昭・平)	35 年 3 月 22 日
来訪者氏名 (※1)	申請者との関係 (※1)			
申請者の 本籍地 (※2)	東京	(都・道) (府・県)	(市区郡以下を記入してください。※2)	
提出理由	年金受給手続	提出先	社会保険庁	

私(申請者)が現在、下記の住所に在住していることを証明してください。

現 住 所	日本語： マレーシア国サバ州コタキナバル市〇〇〇通り100	
	外国語： 100 Jalan 〇〇〇, Likas, Kota Kinabalu, Sabah, Malaysia	
上記の場所に住所(又は居所)を 定めた年月日(※2)		(平成)・昭和) 17 年 4 月

(※1) 申請者と同じときは記入不要です。

(※2) 申請理由が恩給、年金受給手続きのとき、及び提出先が同欄の記載を必要としないときは記入を省略することができます。

在留証明

証 第 AL-06-12345 号

上記申請者の在留の事実を証明します。

平成 18 年 4 月 1 日

在マレーシア日本国大使館
特命全権大使

公
印

(手数料：免除)

在留証明願

平成 18 年 4 月 1 日

在マレーシア日本国大使 殿

申請者氏名 証明書を 使う人	証明 太郎	生年 月日	〔明・大〕 〔昭・平〕	33 年 12 月 12 日
来訪者氏名 (※1)	申請者との関係 (※1)			
申請者の 本籍地 (※2)	東京	〔都・道〕 〔府・県〕	千代田区霞が関2丁目2番地1 (市区郡以下を記入してください。※2)	
提出理由	銀行口座開設	提出先	関東銀行	

私(申請者)が現在、下記の住所に在住していること、及び別紙の事実を証明してください。

現 住 所	日本語： マレーシア国サバ州コタキナバル市〇〇〇通り100
	外国語： 100 Jalan 〇〇〇, Likas, Kota Kinabalu, Sabah, Malaysia
上記の場所に住所(又は居所)を 定めた年月日(※2)	
(平成・昭和) 17 年 4 月	

(※1) 申請者と同じときは記入不要です。

(※2) 申請理由が恩給、年金受給手続きのとき、及び提出先が同欄の記載を必要としないときは記入を省略することができます。

在留証明

証 第 AL-06-12345 号

上記申請者の在留の事実を証明します。

平成 18 年 4 月 1 日

在マレーシア日本国大使館
特命全権大使

公
印

(手数料： RM)

過去の住所

1	1989年 9月 から 1991年 8月 まで	マレーシア国サラワク州クチン市 △△△△通××マンションA-5
2	1991年 9月 から 1999年 8月 まで	マレーシア国サラワク州ピンツル、□□通 ○○○ハイツB-2
3	1999年 9月 から 2005年 3月 まで	マレーシア国サバ州タワウ、 ×××通△△△パークC-2
4	年 月 から 年 月 まで	
5	年 月 から 年 月 まで	

同居家族

1	氏名		生年月日	(明・大 昭・平)	年 月 日
	本籍地	(都・道 府・県)			
2	氏名		生年月日	(明・大 昭・平)	年 月 日
	本籍地	(都・道 府・県)			
3	氏名		生年月日	(明・大 昭・平)	年 月 日
	本籍地	(都・道 府・県)			
4	氏名		生年月日	(明・大 昭・平)	年 月 日
	本籍地	(都・道 府・県)			
5	氏名		生年月日	(明・大 昭・平)	年 月 日
	本籍地	(都・道 府・県)			

在留証明願

平成 18 年 4 月 1 日

在マレーシア日本国大使 殿

申請者氏名 証明書を 使う人	証明 健太	生年 月日	(明・大) (昭・平)	63 年 12 月 20 日
来訪者氏名 (※1)		申請者との関係 (※1)		
申請者の 本籍地 (※2)	東京 (都・道 府・県)	千代田区霞が関2丁目2番地1 (市区郡以下を記入してください。※2)		
提出理由	大学の入学手続	提出先		外務大学

私(申請者)が現在、下記の住所に在住していること、及び別紙の事実を証明してください。

現 住 所	日本語： マレーシア国サバ州コタキナバル市〇〇〇通り100	
	外国語： 100 Jalan 〇〇〇, Likas, Kota Kinabalu, Sabah, Malaysia	
上記の場所に住所(又は居所)を 定めた年月日(※2)		(平成・昭和) 17 年 4 月

(※1) 申請者と同じときは記入不要です。

(※2) 申請理由が恩給、年金受給手続きのとき、及び提出先が同欄の記載を必要としないときは記入を省略することができます。

在留証明

証 第 AL-06-12345 号

上記申請者の在留の事実を証明します。

平成 18 年 4 月 1 日

在マレーシア日本国大使館
特命全権大使公
印

(手数料： RM)

(1/2)

過去の住所

1	年 月 から	年 月 まで
2	年 月 から	年 月 まで
3	年 月 から	年 月 まで
4	年 月 から	年 月 まで
5	年 月 から	年 月 まで

同居家族

1	氏名	証明 太郎	生年月日	明・大 昭・平	33 年 12 月 12 日
	本籍地	東京 (都・道 府・県)			
2	氏名	証明 花子	生年月日	明・大 昭・平	35 年 3 月 22 日
	本籍地	東京 (都・道 府・県)			
3	氏名	証明 康子	生年月日	明・大 昭・平	2 年 8 月 13 日
	本籍地	東京 (都・道 府・県)			
4	氏名		生年月日	明・大 昭・平	年 月 日
	本籍地	(都・道 府・県)			
5	氏名		生年月日	明・大 昭・平	年 月 日
	本籍地	(都・道 府・県)			